

日本小児血液・がん学会 第5回理事会議事録

日 時：平成24年10月26日（金） 12：30～17：30
場 所：アブラックペアレンツハウス浅草橋2階セミナールーム

出席者：石井榮一（理事長）

越永従道（副理事長）、足立壮一、池田 均、今泉益栄、菊地 陽、工藤寿子、
黒岩 実、嶋 緑倫、滝 智彦、中澤温子、野崎美和子、細井 創、真部 淳、
米田光宏（以上理事）

伊藤悦朗、福澤正洋（以上監事）

田口智章 第55回学術集会会長

小田 慈 第56回学術集会会長

水谷修紀（オブザーバー）

欠席者：小原 明（理事）

加藤俊一 第54回学術集会会長

原 純一（オブザーバー）

議事録署名人の選出

第4回（9月14日）議事録署名人として嶋 緑倫先生、中澤温子先生、第5回（10月26日）
議事録署名人として黒岩 実先生、工藤 寿子先生が選出された。

I 協議事項

1.平成23年度事業報告・平成24年度事業計画について理事長より資料に沿って説明があった。

2.第57回（2015年）学術集会会長選出の件

杉田完爾先生（山梨大学）と前田美穂先生（日本医科大学）が立候補し、投票の結果、杉田先生が選出された。

3.名誉会員推戴の件

岩井直躬先生、金子安比古先生、金子道夫先生、土屋滋先生、中川原章先生、林泰秀先生、正木英一先生、麦島英雄先生の8名の推挙し承認された。

II 報告事項

1. 庶務報告：越永委員長より現在の会員状態ならびに賛助会員について報告された。

・新入会員について問題なく承認された。

2. 前回理事会議事録の確認：議事録について確認され、議事録署名人の印をいただくことになった。

3. 常設委員会報告

1)規約委員会：野崎委員長より評議員資格の変更について定款施行細則の変更について、資料の説明があり審議された。

- ・細則は普遍的に変わらない記載方法をしている。

- ・変更箇所

領域別申請資格について

(1) 小児科領域

②血液専門医でかつ・・・

③小児科専門医でかつ、がん治療認定医・・・

(2) 小児外科領域

③小児外科専門医で規定の手術例数を有し、・・・

(3) 小児放射線

③原則的に所定の点数を上回る

(4) 病理領域

③原則的に所定の点数を上回る

(5) 上記以外の臨床系領域

①及び②または①及び③または①及び④

3) 審査基準

(2) 学術研究実績については申請内容に基づいて・・・

(3) ④は削除

- ・変更内容はメールにて確認することとなった。

○第 55 回学術集会の進捗状況について、ポスターについて田口学術集会会長から説明があり理事会で承認された。

2)学会誌編集委員会：資料に沿って嶋委員長より説明があった。

- ・第 4 号から新編集体制で行う。発行は 12 月頃の予定。

- ・学会誌（年 4 号+抄録集）の定期購読希望者(図書館等)を、年 10,000 円で定期購読とし、募集することについて審議され承認された。なお、小児がん学会で行っていた無料配布は廃止することとなった。

- ・広告について

基本は 1 年契約であるが、1 回のみ広告を出したい企業があったため、広告費について審議

され、1回のみでの広告の場合は1年の料金の2分の1とすることで承認された。

3)学術教育委員会：細井委員長より学術賞の選考について資料に添って説明があった。

- ・学術賞については学術集会のプレナリーセッションで発表をしていただく。
- ・大谷賞については今後、学術教育委員会で検討することとなった。

4)保険診療委員会：黒岩委員長より資料に沿って説明があった。

- ・小児がんを扱っている関連施設へのアンケートについて倫理委員会の審査が必要かどうか検討され、アンケートなので審査はいらぬということが確認された。
- ・アンケートについては委員会でメール審議を行う。

5)専門医制度委員会：菊地委員長より資料に添って説明があった。

- ・地域の研修会の単位認定を、各研修会に通知した。
- ・暫定指導医の第3回の募集を2月に行うことについて、ホームページに掲載し、雑誌第3号の前付で入る。
- ・専門医認定試験について
 - ・当初は2013年秋に行う予定であったが、2014年の秋に変更することについて、工程表に基づいて説明があった。
 - ・最初の作業として評議員に問題の作成委員になってくださるか伺う。(但し試験を受けない方)
 - ・専従の事務をおくことについて、外注するかどうかは再度検討する。
- ・小児がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会
現在予算抑制が行われており、費用が凍結され降りてこないため、400万～500万の立替えが発生する可能性がある。事業を進めるかどうか審議され、予定通り進めておくことに決定した。

6)財務委員会：池田委員長より23年度決算、24年度予算について資料の通り説明があった。

○決算について

- ・学術集会のものは決算委託手数料に入っている。
- ・ガイドラインの著作権料は広報事業に含まれるが今期はまだ入っていない。
- ・疾患委員会の支払いは年度内に請求してほしい。年度をまたぐと執行できない場合がある。

○予算について

- ・予算の800万の赤字については、総会、評議員会に提出するにあたり検討の必要がある。
- ・収入が増えないと根本的な解決にはならないのではないか。
- ・賛助会員を増やすことを考えていく。

7)国際委員会：真部委員長より資料に添って報告された。

- ・ ASPHO とは事務局どうしの交流があったほうがいいということが理事長より提案された。
- ・ 日血に、小児血液領域から理事を出して頂くことについては、前向きに検討するとの連絡があったことが報告された。
- ・ 小児がんの outreach について三重大の堀先生が行うアンケートについて理事会で承認された。
- ・ 学会雑誌の国際化について審議された。
 - ・ 石井理事長から PBC から official journal にすることに了解の返事があった。購読料は年間 60 ドル(5,000 円)購入者は 2 割位を想定しているとの報告があった。
 - ・ 評議員申請の際の論文業績の雑誌にもなるのではないか。
 - ・ official journal は一つの必要はないのではないかとの意見があった。
 - ・ PBC、IJH、IJCO 3つを official journal とすることで合意した。
 - ・ 購入は強制ではない。

8)社会・広報委員会：中澤委員長より報告があった。

- ・ ホームページの最終的の原稿を理事に廻しているので確認が終われば完了となる。

9)理事・評議員資格審査委員会：新評議員の申請について今泉委員長より資料に沿って報告があった。

- ・ 9 月末で評議員の申請を締切、61 名の申請があった。10 月 15 日に委員会で審査を行い全員新評議員として推薦することとした。
- ・ 61 名全員を新評議員として推薦することが理事会で承認された。

10)診療ガイドライン委員会：米田委員長より報告があった。

- ・ 2016 年秋に改訂版が出るため、そのための作業を行った。疾患の責任者に学会中に集まってもらい、打ち合わせをする。
- ・ 昨年ガイドラインが出版されたが、1 年間経つとホームページに公開することが可能なため小児血液がん学会のホームページで 12 月から掲載をする。
- ・ 石井理事長より五十嵐班の慢性疾患の見直しを米田先生にお願いしているとの報告があった。固形腫瘍は米田先生 血液は康先生、脳腫瘍は柳澤先生が担当。

11)疾患登録委員会：池田委員より資料に沿って報告があった。

- ・ 各疾患の登録数は次回の評議員会で公開する予定になっている。
- ・ 会員からの申し出(①福島被ばくに関する菊田先生からの依頼、②どこでもマイカルテ「小児がん長期ケア事業」、③エコチル調査)については、いずれも現時点では疾患登録としては

対応しないこととなったことが報告された。

- これについて、連携事業については積極的に考えることもいいのではないか。提案の具体例がなかったのではないか。依頼のフォームをつくり検討をしていくようにしたらよいのではないか等の提案があった。
- 理事長が小原先生と話し合いをすることとなった。

12)利益相反委員会：滝委員長から資料に添って報告があった。

- 副委員長に小原先生になっていただくことが理事会で了承された。
- 学術集会の発表者の利益相反の開示について、現在、抄録の校了が迫っていて掲載することが出来ないので、ホームページに掲載し、「詳細は学術集会ホームページをご覧ください」とする。
- 小児がん学会では規約を作り演題登録の際チェックをする欄を作っていた。
- 役員の利益相反についても、行う必要があるという意見があり、作成することになった。

13)臨床研究審査委員会：資料に添って足立委員長より説明があった。

- 臨床研究審査 27 の 2 次審査は 3 分の 2 以上の承認を得たため、承認の連絡を副委員長の野崎先生の名前で出すこととなった（JPLSGからの研究審査のため）。
- 臨床研究審査 30 として、疾患登録委員会「20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究調査」から申請をされた。
- 原則としてメールで審議している。合同になって最初の委員会を学術集会中に行う。

4. 疾患委員会

1)白血病リンパ腫委員会：滝担当理事より資料に添って説明された。

5. 学術集会準備報告

プログラム委員会は学会のプログラム委員会が主導で行い、第 55 回、第 56 回の学会長、学会長推薦のプログラム委員、白血病リンパ腫委員会の担当理事、看護学会長が入ることとなった。

○第 56 回学術集会準備状況について：小田先生より資料に沿って説明があった。

- 予算総額 4,700 から 4,800 万で支出は 3,800 万程度となる見込み。
- 専門医制度のこと、中核病院のことなどもプログラムに組み込みたい。
- 教育セッションについても、プログラム委員会で検討をしていただきたい。

6. その他

ASSI-PRO との件については現在調査委員会にて継続審議中

次回理事会は 11 月 29 日 14:00～ 学術集会中

以上